



イオン北海道からみなさまへ

持続可能な社会の実現を目指し 食品廃棄物削減に取り組めます

食品廃棄物
発生量の推移



取り組みの
一例 ①



賞味期限の
見直して
食品ロス
削減!

取り組みの
一例 ②

真空包装した
冷凍食品の売場。

真空包装する機器は2021年7月末現在、
イオン・イオンスーパーセンター・マックスバリュ
13店舗に導入しています。



食品廃棄物の発生抑制と減量化に向けた取り組みを行っています

当社は食品を販売する小売業の責任として、食品廃棄率の削減をISO14001の全社共通目標の1つに定め、食品廃棄物の削減に取り組んでいます。

取り組みの一例として、うなぎや恵方巻の事前予約の拡大や発注精度・製造計画精度の向上、店内加工技術の向上などを行い、食品廃棄物の発生抑制と減量化を図っています。その結果、2020年度の食品廃棄物は2019年度対比1.9%削減という目標に対し、6.0%削減と目標を達成しました。

他にも、「トップバリュ」の加工食品で賞味期限が1年以上の商品を順次、「年月日」

から「年月」に表示を変更しているほか、2021年1月からは、一部の店舗の水産売場にて真空包装する機器を導入し、ノントレー包装の冷凍食品の販売を開始しました。真空包装なので、賞味期限が長くなるとともに、使いたいときに調理することができます。

当社は持続可能な社会の実現に向け、今後も食品廃棄物削減の取り組みを行ってまいります。

SDGsの取り組み



SDGs(持続可能な開発目標)とは、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。この取り組みによりSDGsの目標12の達成に貢献します。